

日本と外国の違い

東京都府中市立府中第五中学校

三年 豊泉 拓也

私はこれまで引越しが多く、四つの家に住んできました。その中で特に特徴的だったのは、韓国に住んでいた時のことです。僕が住んでいた所は、駅を中心に商店街やマンションが広がっている、コンパクトシティ型でした。コンパクトシティには、良い所がたくさんあります。例えば、近くに必要なのがそろっているため、公共交通機関だけでの移動がしやすく、高齢者の運転事故などを少なくしたり、ガスの排出量を減らすことができます。その他にも、上下水道や道路に費やすお金が、より少なくなります。

さらに、韓国のマンションは、その多くが二十階を超えていて、地震がないため耐震性が低いかわりに、ほとんどのマンションに地下空間があり、普段は駐車場として利用しているが、ミサイルが飛んできた場合の避難場所となっていると知り、場所によつて特徴が大きく変わることが、過ごしているとよく分かりました。室内でも、日本とは違った点がいくつかあります。その多くが、寒さ対策のためのものです。

例として、床暖房が挙げられます。エアコンやストーブの場合は、床が暖まりにくく、足裏から体温が奪われるけど、床暖房は、温度は低いですが足に直接触れているため、熱が伝わりやすくなっています。

もう一つは、窓についてです。日本の窓は、一枚ガラスです。日本に住んでいる時は、それが当たり前だと思っていたけど、韓国では、二重窓がほぼすべてに用いられていて驚いたけど、日本より寒いはずなのに、室内はとても暖かくて、なぜ日本も二重窓を使わないのだろうか、疑問を持ちました。

私は韓国に住んで、日本と韓国の住宅の違いはもちろん、気温の違いも、工夫すること埋めることができると分かりました。